

成美小だより

☆第52号☆
2023年 2月 2日

☆ 不審者対応の避難訓練を実施しました ☆

1学期には「火事」を、2学期には「地震」を想定した避難訓練を実施し、1月31日（火）に行った避難訓練では、「不審者侵入」を想定して行いました。

2時間目に3年月組へ不審者が侵入しました。3年月組と隣のクラスの雪組は教員が不審者をその場所に留めている間に避難し、放送を受けた他の学年も同時に運動場に避難しました。この様子を津南警察署の警察官に立ち会っていただき、訓練の最後に子どもたちに話をいただきました。

「火事」も「地震」も「不審者侵入」も、子どもたちが学校に在籍している間に起こらないかもしれません。でももし起こったときに自分の命を守れるように、1人ひとりが訓練の体験を生かして行動することが大切です。警察官の方からは、「今日の皆さんの避難は95点です！」と合格点をいただきました。



【子どもたちに聞いてみてください】

不審者侵入の際は不審者を興奮させることなく全校児童に避難指示をする必要があるため、いわゆる「隠語（いんご）」を使います。例えば飲食店で店員さんが「ハッピー行きます。」というのが「休憩に入ります」の意味で使われるようなものです。本校では、校内に不審者が侵入した際に、全校放送で隠語を使って「どこに不審者が侵入したか、どこへ避難するか」を伝えるようにしています。子どもたちは知っているはず・・・ですので、一度聞いてみてください。すぐ答えられたら褒めてあげてくださいね。（正解は次号で）

☆ 校長の一考・熟考₉₂ ～ あと少し ～

「5月8日から5類に引き下げ」という新型コロナウイルスに関するニュースに触れ、3年越しの感染対策が大きな節目にあることを実感しています。これまでも一定の条件が整えば、マスクを外すことや食事中に黙食をしなくてもいいことなどが国や県からの通知でありましたが、学校では教室内はマスク、給食も黙食を継続しています。

子どもたちがワイワイ話をしながら楽しく給食を食べるようにしたいという気持ちはずっとあるのですが、今の状況ではまだ時期早々であると判断しています。子どもたちは下校後それぞれの家庭で生活をしていて、そこには高齢のおじいさんやおばあさんがいらっしゃる家庭もあれば、介護や医療の仕事に就いてみえる保護者の方もあります。

学校内で子どもから子どもへ、そしてそれが家庭へと感染拡大することは避けなければなりません。県内の感染状況は減少傾向になり始めています。コロナ禍のトンネルの出口はもうあと少しです。校内における感染拡大予防の指導を今しばらくは継続していきますので、ご理解いただきますようお願いします。